

令和五年

松香 Komunikado

九月十日発行
第三百六号

大本松香分苑
豊橋市南牛川二・三・二〇
電話 ファックス
〇五三二・六三・二一七三
発行責任者 山本 健

令和五年九月度 月次祭 ごあいさつ

分苑長 山本 健

Saluton al ĉiuj!

ただいまは松香分苑の令和五年九月度の月次祭を、遠方からもご参拝いただき、すがすがしく齋行させていただきました。ご参拝・ご奉仕くださいました皆様方、又オンライン参拝並びにお玉串をお送りくださりました方々、誠に有難うございます。先日、九月八日の神島遥拝祭にご参拝いただいた方々及び神島の掃除ご奉仕をしていただいた方々に御礼申し上げます。

四点お話しさせていただきます。

一、長生殿前の農業試験場跡地を大本が購入出来ました。すでにご承知と思いますが、二代様が、ここははずれ大本の土地になるんやで、と仰った土地が、八月三十一日に競売にかけられ無事大本が落札出来ました。



教主様は、神さまの土地になりましたと、表現されています。ここで教主様のご挨拶を代読させていただきます。

皆様で万歳三唱をさせていただきます。

長生殿からまっすぐ前が広がりました。

二、藤原直哉氏講演会開催

九月三日、万祥殿月次祭の午後、藤原直哉氏の講演が、出口王仁三郎顕彰会主催で開催されました。約三百五十名の参加がありました。そのうち大本信徒は、五十人？くらいで、ほとんどが未信徒でした。私も藤原ファンの未信徒四人を聖地へご案内しました。三人が前泊、一人大阪の方は、当日朝、来られました。聖地案内、植物園、大本ギャラリー、そして月次祭参拝と大本の紹介をしました。聖地の素晴らしいですが、がしさや、耀碗はじめ歴代教主様のお作品にそして、何より、月次祭祭典のすばらしさ、特に神饌物の多さにびっくりされておられました。祝詞、讚美歌の本を天声社で買って帰られた方もおりました。藤原学校で、聖師様の大本祝詞（事件前まで、朝拝の時上げていた祝詞で、霊界物語六十巻第十五章に記載されています）を毎日奏上するように渡され、毎日奏上しているとのことでした。

藤原先生のお話は、「もともと無神論者だったが、神さまがいるのなら会ってみたいと思ひ、出口真人先生に、どうしたらよいか、尋ねると、『大本の神様を祭って、祝詞上げたら、分かる』と言われて、二十一年前に入信し、大神様・祖霊様を鎮祭しました。

そしたら神様はおるは、おるは、はつきりとわからせてもらった」という話から始まり、大本神諭、霊界物語の予言通りに現在なっているとといった話が中心で、これからは天（神、仏）と通じていないと、生き残れない。企業も同じという話でした。ギャラリーで聖師様の耀碗他を見るように話され、講演会終了後、大勢の方がギャラリーに入っていました。ものすごい宣教活動でした。

三、宣伝使について

宣伝使推薦の案内が本部より送られてきました。大本信徒にとつて最も大事な御用は、み手代お取次ぎです。これは聖師様が私たちに権限を委譲して下さったものです。このみ手代お取次ぎで大変なおかげを頂いた方はたくさんおられます。特に、松本先生や、山本文子相談役は、お取次ぎの一生でした。

このみ手代は、宣伝使にならないと、ご下附頂けません。ぜひ宣伝使にならない方は、宣伝使になれるよう、条件を満たす活動をお願い致します。

条件の詳細は、大本誌などに掲載されます。また、既にみ手代を頂いておられる方は、是非毎日のようにお使いください。